

# 平成30年度 第2回自然再生専門家会議

～上サロベツ自然再生事業実施計画(変更)について～

平成31年2月26日

# 上サロベツ自然再生事業の歩み

○平成17年 上サロベツ自然再生協議会設立  
(再生技術部会、再生普及部会)

○平成18年 上サロベツ自然再生全体構想策定

○3つの目標

①湿原の再生 ②農業の振興 ③地域づくり

○平成21年 上サロベツ自然再生事業実施計画書  
(環境省)策定

○平成30年 上サロベツ自然再生協議会において  
実施計画書変更承認

# 環境省による取組 全体図

1  
水抜き水路の  
堰上げ・埋戻し

2  
ササ対策試験  
・ ササ剥ぎ取り  
・ 溝造成

3  
・ 植生回復試験  
(表土剥ぎ取り・  
泥炭撒き出し)  
・ 木道の撤去等

4  
・ 植生回復試験  
・ 開水面のモニタ  
リング等

2  
ササの分布状況の  
モニタリング

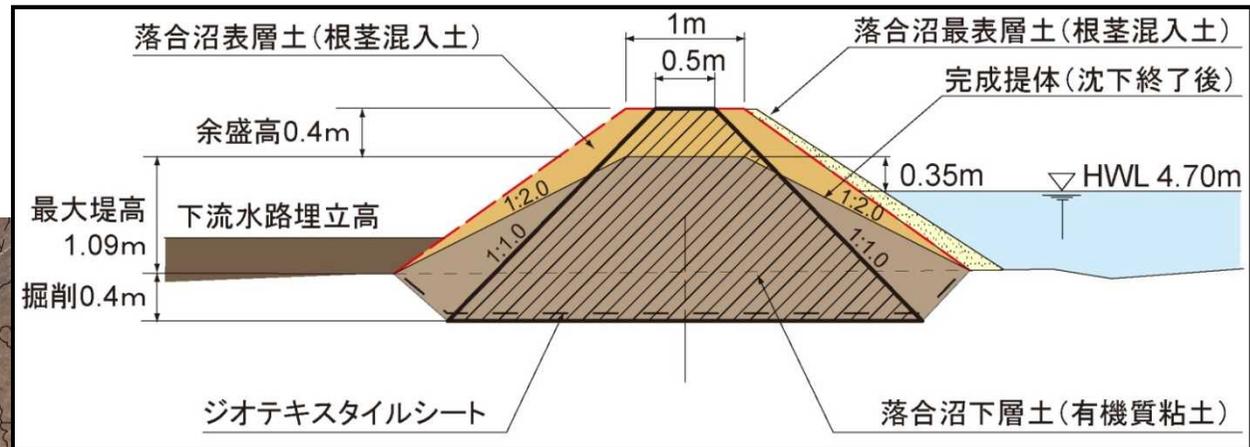
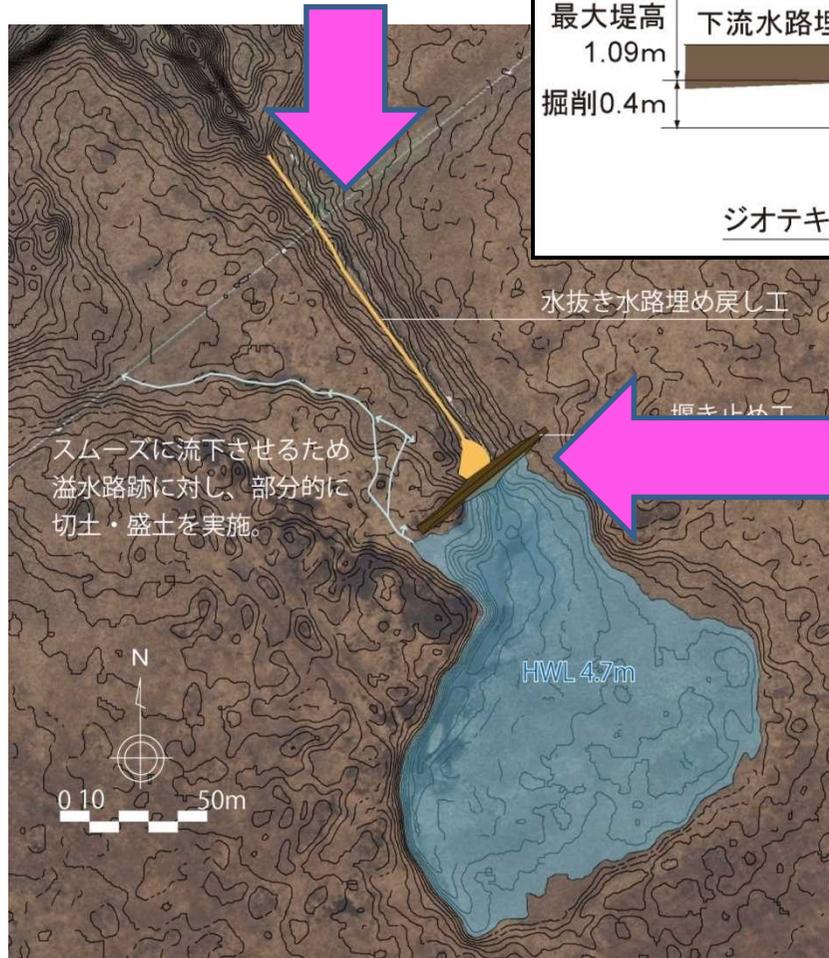


# 変更のポイント

①サロベツ川放水路南側湿原周辺の  
乾燥化対策

# ○堰き止め工の概要

水抜き水路  
埋め戻し工



## 堰き止め工の標準断面図

## 堰き止め工

■ 工事期間:  
平成22年3月31日  
～5月28日

# ＜落合沼水抜き水路の現状＞

○十分な効果が確認された時点で最終評価を行い、その後は目視観察とする。



平成22年(左)

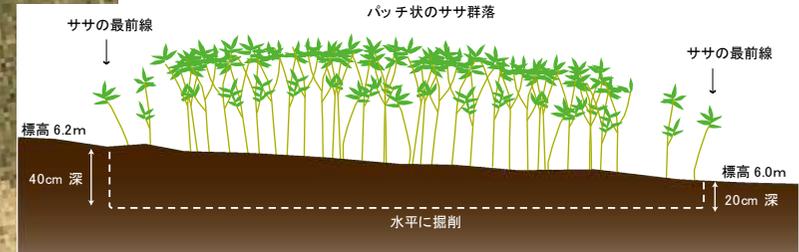
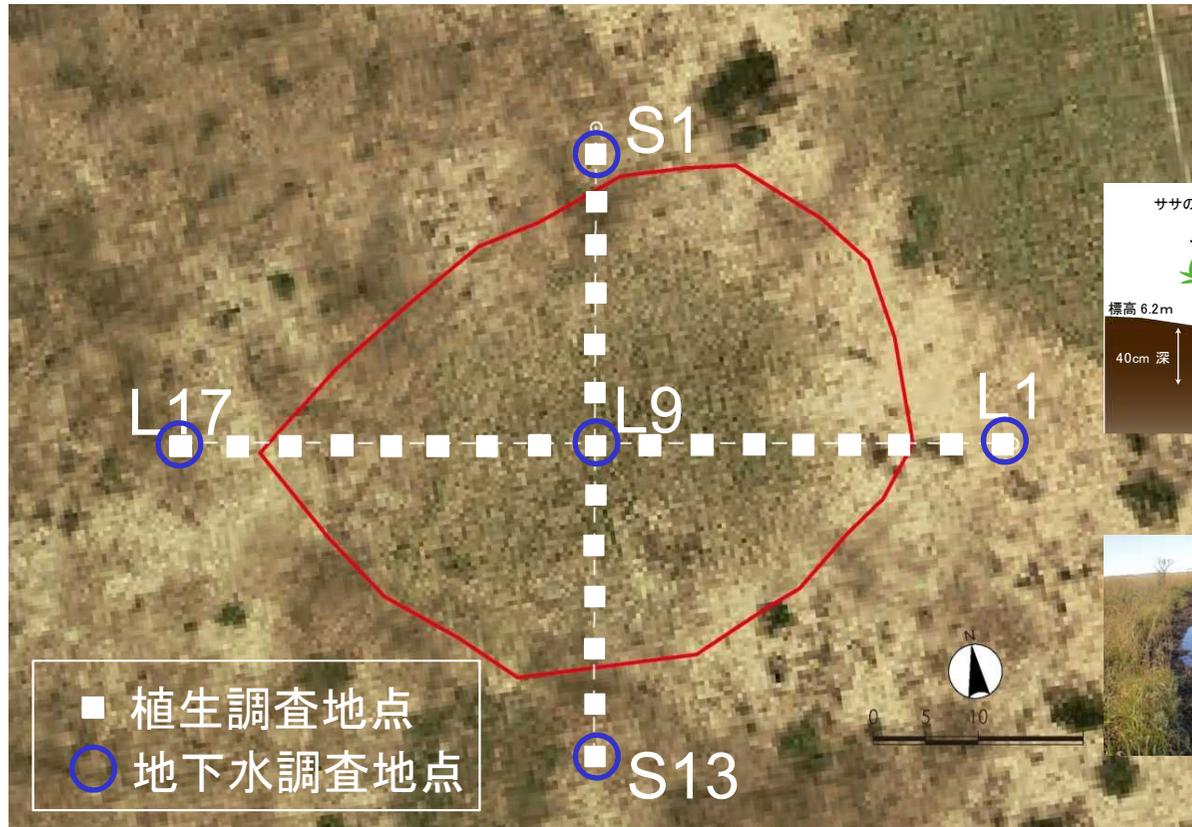
平成30年(右)

場所	調査項目	目標
後背の高層 湿原植生域	地下水位 (基盤条件)	現状の地下水位が低下しない
	植物 (再生対象)	高層湿原植生の種組成に変動がない
沼周辺	地下水位 (基盤条件)	現状の地下水位が上昇して高層湿原植生域の地下水位に近づく
	植物 (再生対象)	ヌマガヤ群落の種組成が高層湿原植生の種組成に近づく
落合沼跡の 窪地	地下水位 (基盤条件)	湛水する
	植物 (再生対象)	抽水植物、沈水植物が生育する

# 変更のポイント ②ササ侵入抑制対策



# ササ剥ぎ取り範囲とモニタリング位置



ササ剥ぎ取り後の状況  
平成28年9月



ササの侵入は  
見られていない

平成29年8月

# 溝の造成とモニタリング位置

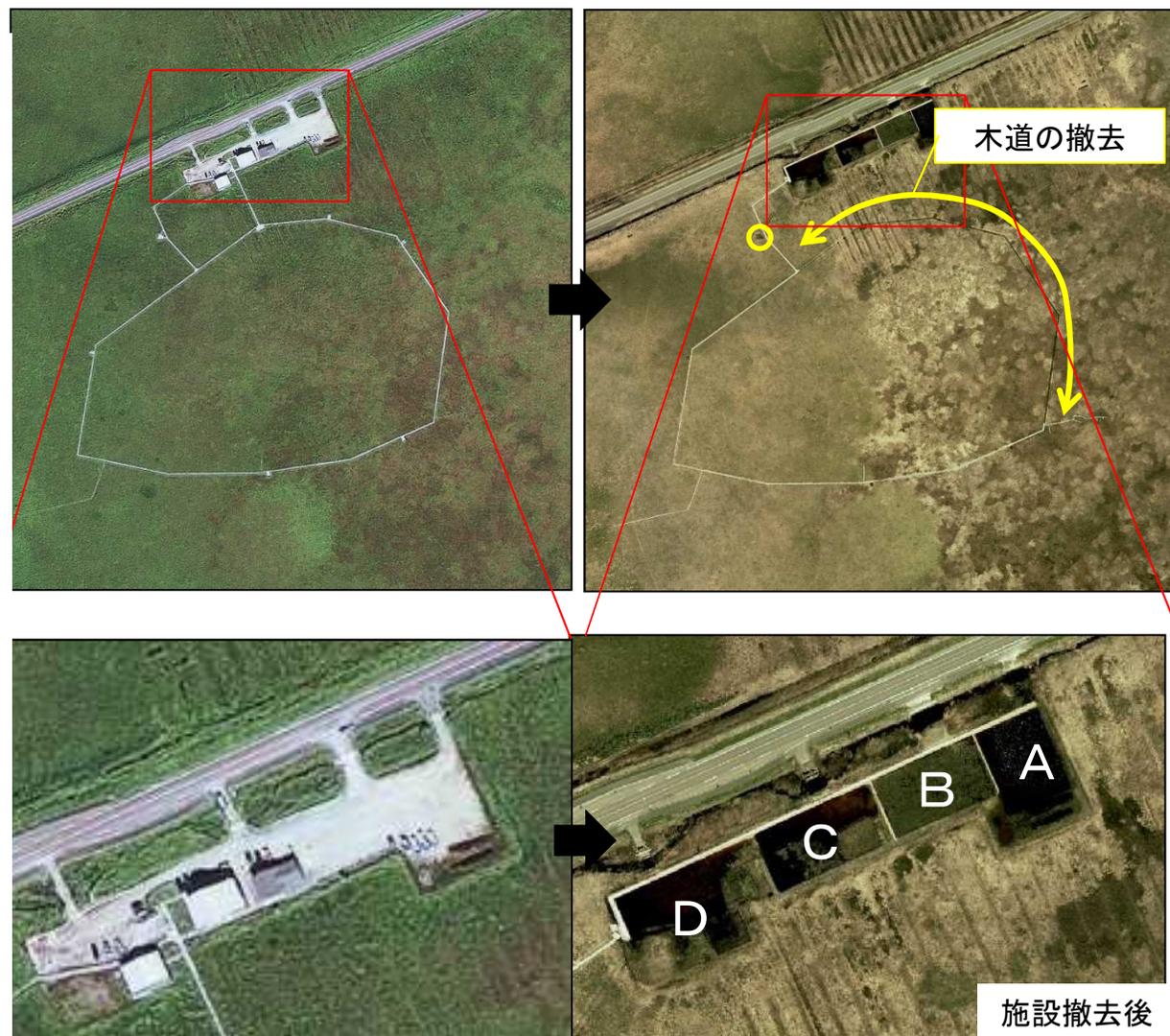


# 変更のポイント

## ③原生花園園地跡地における湿原植生の回復

# 原生花園園地跡地における事業進捗

- ①施設撤去後の原状回復を目的として植生回復試験を実施。
- ②平成22年12月～平成23年6月にかけて、施設の撤去及び表土の掘削、泥炭の一部投入等の再生工事を実施。
- ③現在はその効果を確認するためのモニタリングを継続中。

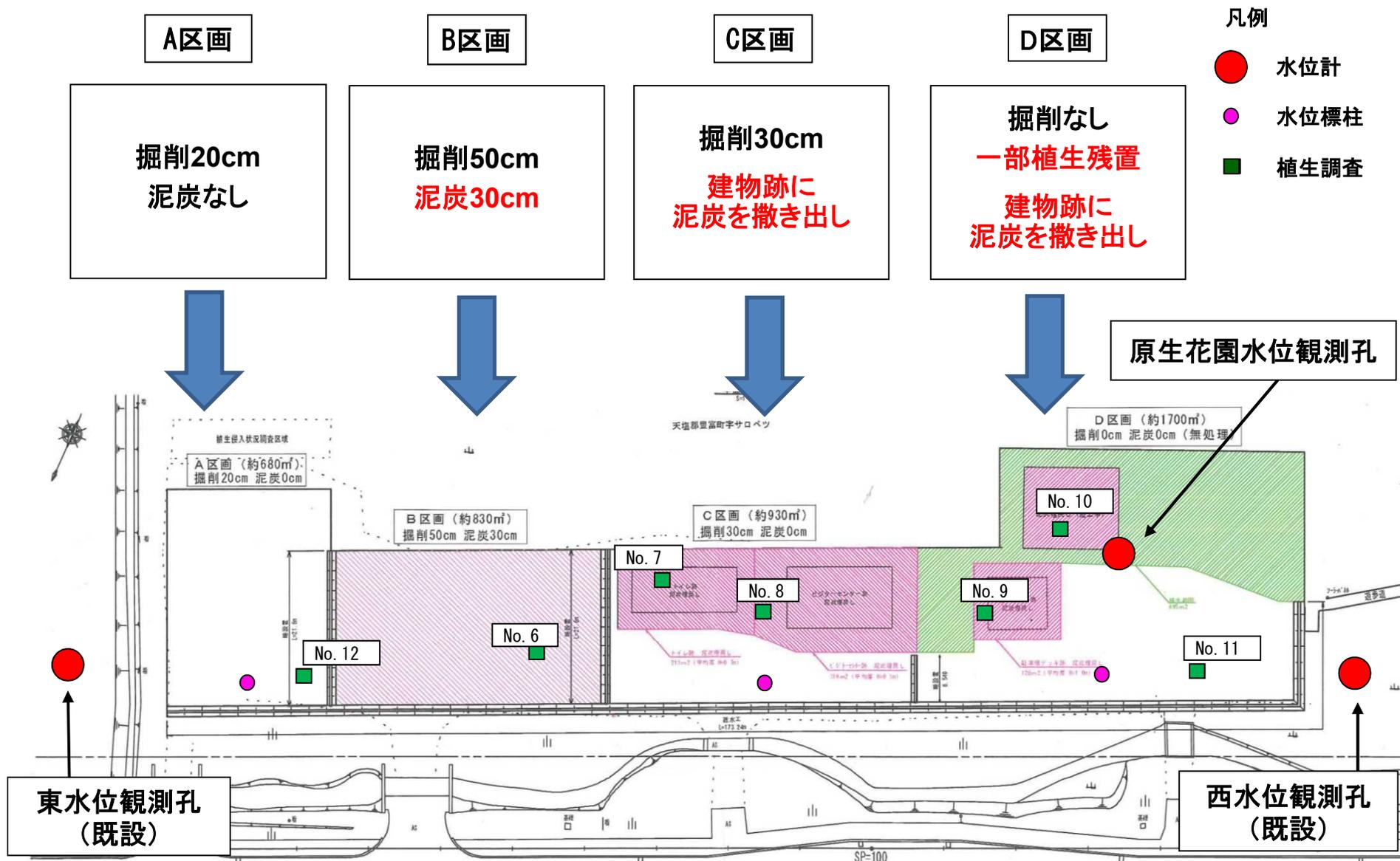


平成18年10月30日撮影

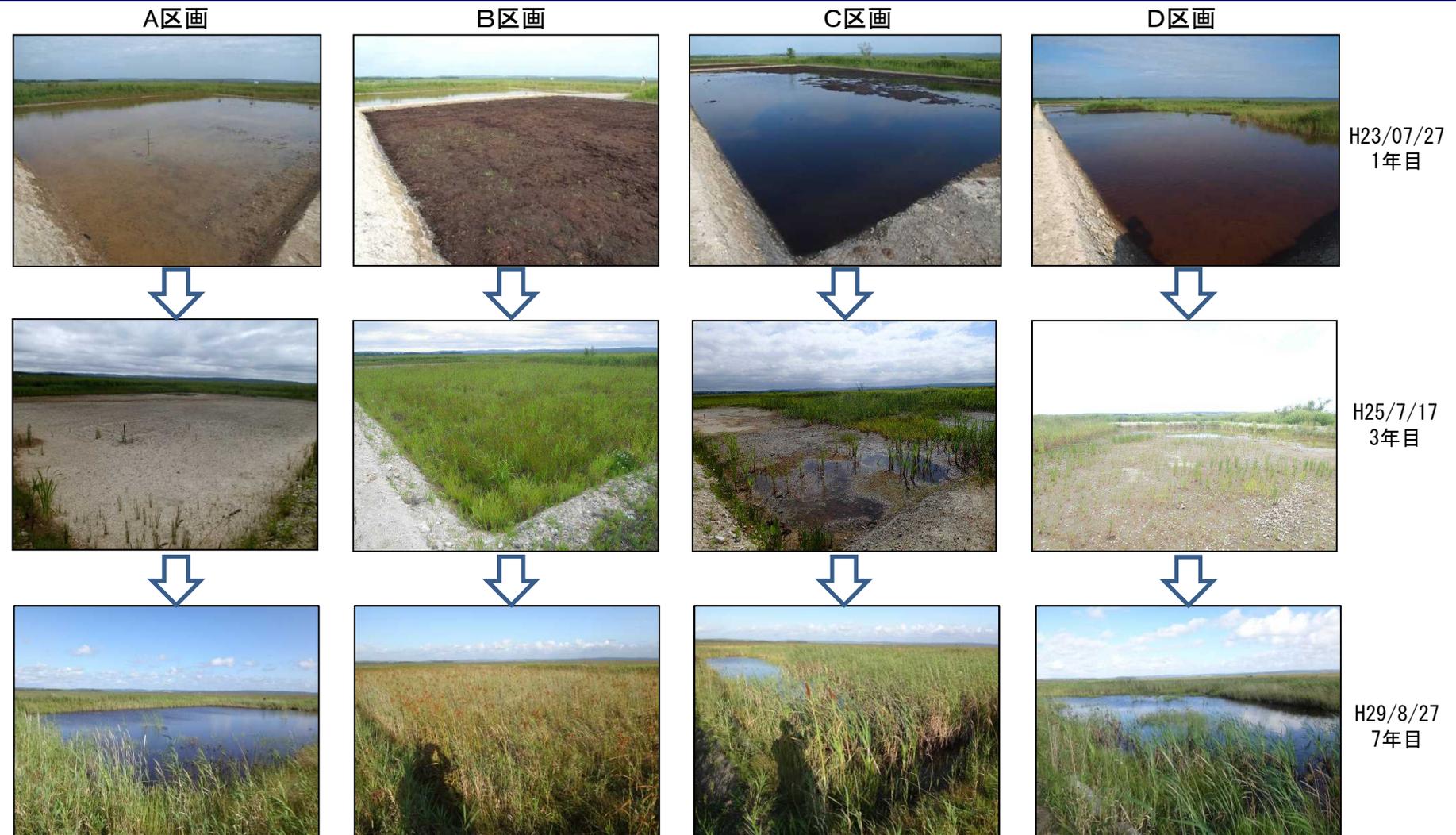
平成25年5月26日撮影

サロベツ原生花園園地跡地周辺の空中写真

# 原生花園園地跡地 調査地点詳細図



# 原生花園園地跡地 植生の変遷



- ・B区画は泥炭を撒き出して地表面が高くなったため、冠水はみられない。植生回復が顕著であったが、種組成が単調化傾向にある。
- ・C、D区画の泥炭を撒き出した範囲(建物跡)では植生回復状況は良好。
- ・A、C、D区画の掘削面は冠水しており、開放水面がみられるものの、植生回復が少しずつ進行している。

# 変更のポイント

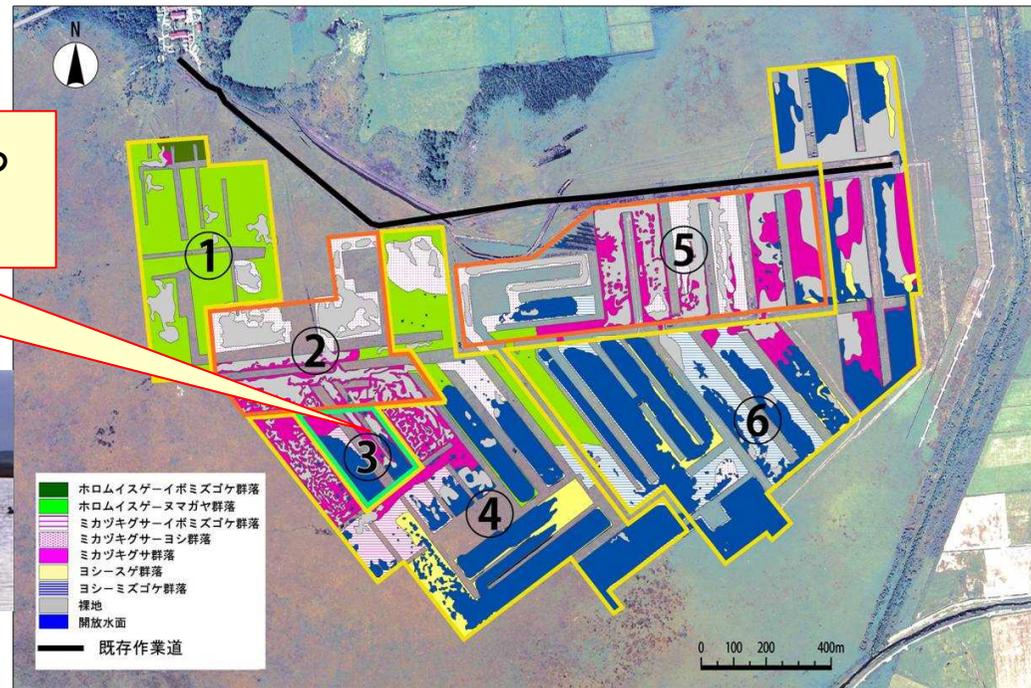
## ④泥炭採掘跡地の再生

# 泥炭採掘跡地におけるゾーニング

③は、実際の対策が難しいことから  
植生の遷移を見守ることとする



オオヒシクイの利用



区分	周囲の植生	修復の方向性(現行計画)		今後の方向性	
		修復	遷移を見守る	遷移を見守る	植生の遷移を見守る
①	高層湿原植生	遷移を見守る	陸化した採掘箇所には分布している植生の遷移を見守る。	同左(変更なし)	
②		修復	裸地状態が続いている採掘箇所の植物の定着を促す。	同左(変更なし)	
③		修復	開水面に泥炭ブロック等を活用して生育基盤を形成し、植物の定着を促す。	遷移を見守る	植生の遷移を見守る
④		遷移を見守る	陸化した採掘箇所は、植生の遷移を見守る。 開水面は、オオヒシクイの利用を考慮して人為的な操作は行わずに自然の推移を見守る。	同左(変更なし)	
⑤		修復	裸地状態が続いている採掘箇所の植物の定着を促す。	同左(変更なし)	
⑥		低層湿原植生 (ササ混生タイプ)	遷移を見守る	陸化した採掘箇所では、植生の遷移を見守る。 開水面は、オオヒシクイの利用を考慮して現況を維持する。	同左(変更なし)

# まとめ

1  
水抜き水路の  
堰上げ・埋戻し

3  
・ 植生回復試験  
(表土剥ぎ取り・  
泥炭撒き出し)  
・ 木道の撤去等

今後の取組  
○モニタリングを中心とした対応に変更  
○ササ対策は一定の評価を行った後、対策内容を検討



2  
ササ対策試験  
・ ササ剥ぎ取り  
・ 溝造成

4  
・ 植生回復試験  
・ 開水面のモニタ  
リング等

2  
ササの分布状況の  
モニタリング